

# 辻 泰弘 国会ニュース

つじ やす ひろ Kokkai News 2006年11月2日 NO. 53

## 参議院厚生労働委員会(10月26日)質疑報告



### ◎ 障害者自立支援法は自立を阻害！ 直ちに対応策を！！

辻 泰弘：障害者の負担過大。一割負担凍結が必要。来年度予算で対処を。  
柳澤 厚生労働大臣：現状を的確・広範に把握。指摘の方向で対処したい。

### ◎ 維持期のリハビリテーションは必要！ 早急に見直しを！！

辻 泰弘：診療報酬改定で維持期リハビリが継続不可に。機能低下防止に必要。来春にも見直し。  
石田 厚生労働副大臣：中医協の検証部会で改定後の状況を検証。次回改定に間に合うよう検討。

### ◎ 介護療養病床廃止の対応は拙速だ！ 「介護難民」の発生を防止せよ！！

辻 泰弘：介護療養病床廃止の対応は拙速で患者追出し、不安増大。受皿作ってから対応すべき。  
石田 副大臣：6年間かけて老健施設に転換。地域ケア整備指針を策定。不安ないように取り組む。

### ◎ 難病対策が遅々として進んでいない！ 四つの対策にしっかり取り組み！！

辻 泰弘：難病対策の法制化、地方の超過負担解消、弾力的な障害認定、対象疾患の追加が必要。  
外口 健康局長：意見伺い検討。予算の増額に努力。生活支援策を推進。懇談会等で議論し対応。

### ◎ 経済成長率に連動させるような医療費の伸び率管理は不適切！！

辻 泰弘：GDP 伸び率連動などの医療費の機械的な伸び率管理は不適切との見解は不変か。  
柳澤 厚生労働大臣：医療は改革に国民の理解と納得が必要。機械的な伸び率管理は不適切。

### ◎ 保険免責制度は導入すべきでない！ 新大臣の見解を明確に示せ！！

辻 泰弘：保険免責制度は受診抑制、症状悪化、皆保険制度の形骸化を招く。導入すべきでない。  
柳澤 大臣：就任1ヵ月で頭が整理されていない。限りなく共感を覚えるということとどめたい。

### ◎ 混合診療の解禁は無原則に行うべきではない！ これで一区切りにせよ！！

辻 泰弘：前国会の健保法改正（保険外併用療養費制度創設）で混合診療の議論は一区切りか。  
柳澤 厚生労働大臣：大きな枠組みとしては非常にうまい案ができ上がり、成案が得られたと思う。

### ◎ 労働争議不介入規定削除の社会保険労務士法改正後の状況をチェックせよ！！

辻 泰弘：規定削除に意義はあったが、適正な労使関係が損なわれてはならぬ。周知徹底が必要。  
武見 厚生労働副大臣：社労士が適正な労使関係を損なうことがないように連合会を通じ周知徹底。

### ◎ 規制緩和一辺倒で人間の幸せは来ない！ 人を大切にする労働法制を！！

辻 泰弘：人を物として扱うような労働環境がある。労働法制がそれを加速してきた。厚生労働大臣は国民の生活・暮らしに密着。規制緩和万能的な労働法制の対応は慎め。後日質問する。

ご意見・ご要望等はお気軽にご連絡を。なお、本号は下記のホームページに掲載済。

兵庫県事務所 TEL 078-230-8824 東京事務所 TEL 03-3508-8402 <http://yasuhiro-tsuji.jp/>